

第3回魚津市行財政改革推進委員会
議題に対する意見提案書

2019年 5月 23日
魚津商工会議所
石川 勝康

事前配布の資料を閲覧し、本委員会議題に対する意見提案を申し上げます。

1、全体

- ① いよいよ、主要方策別の削減目標が示されましたので、大胆かつ慎重に具体策の構築を進めていただき、目標年度における達成をしていただけるようお願い致します。
- ② 以下、2分野他についての意見提案をさせていただきますのでよろしくお願い致します。

2、人件費の圧縮

- ① 令和元年から同6年までの期間において、5%前後の定員削減を目指すと言われていますが、目下の財政事情を考慮された時に、この削減幅は極めて少ないものと思います。
- ② 新卒の一定採用を保持されながらも、定年退職者の方々への再雇用等を考慮され、更に効果的な計画を策定されることが肝要と考えます。
- ③ 一般企業に置き換えた時に、別の「時間外勤務の削減 2%」のことも含めて、その削減目標幅は少なく、再考されることを期待致します。

3、公共施設管理コスト削減

- ① 資料によれば、いまだ同施設の具体的改廃案が示されていないようですが、早期に案をご提示いただけるようお願い致します。
- ② また、各施設使用料の改定について、それぞれの度合いに応じた改定基準を設けられることについては賛同致します。

4、その他

- ① このたび、魚津市・魚津商工会議所の主催によりまして「魚津市産業観光研修」に参加させていただき、本市と提携都市である長野県飯山市役所をはじめ同

市内各所の見学研修をさせていただきました。

その内、同市におかれては人口 2 万人余の地方都市でありながらも、数億円規模の「ふるさと納税」の実績をお持ちであることを伺いました。

- ② 一方、本市では数千万円規模に留まっているとのことですから、今後、「ふるさと納税」規模を拡大することをも目標とされながら、「観光政策・広報政策」に注力していただき、本市財政基盤の安定化に繋げていただきたく考えます。

以上